
ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区

献血・視聴覚委員長研修会

2014-2015 年度



日 時 : 2014 年 8 月 23 日 (土)

14:00~15:45

場 所 : 姫路商工会議所 本館 501 ホール

目 次

地区ガバナーご挨拶

公益財団法人兵庫アイバンク 渡邊和誉様ご挨拶

地区献血・視聴覚委員会の運営方針

1. ライオンズクラブ献血奉仕活動について・・・ 1 頁
2. 献血実施計画の手順・・・・・・・・・・・・・・ 2～5 頁
3. 献血状況や献血種別などについて・・・・・・・・ 6 頁

参考

- ① 「献血紹介カード」による献血推進
- ② ライオンズクラブチラシ
- ③ 市町別献血者状況（献血者居住地ベース）
- ④ 市町別献血者状況（献血者居住地ベース：335D地区抜粋）
- ⑤ 平成25年度兵庫県献血状況（献血から供給まで）
- ⑥ 第10期 聴覚障害者社会参加支援事業 形態分析
- ⑦ 335-D地区各クラブ アイバンク登録状況
- ⑧ 新アワード申請（アイ・サーブゴールドメンバー）



献血・視聴覚委員長研修会開催に寄せて

【335-D地区ガバナーテーマ】

「原点回帰と革新」

【335-D地区アクティビティスローガン】

「温故知新 次代への展開」

ライオンズクラブ国際協会 335-D地区
地区ガバナー L. 小暮 敏郎

本日の『献血・視聴覚委員長研修会』は、地域住民が“健康で明るい社会生活”を送るために必要、不可欠なライオンズクラブのアクティビティについての研修会です。

献血では「病院で輸血を受けられる患者さんのもとへ、安全な血液を不足なく届けることができるように支援すること」。聴覚障害者福祉では「聴覚障害のある方々が、自立され、より豊かな社会生活を送ることができるように支援すること」。そして、視力ファーストでは「角膜移植を必要としている人々に、一日も早く希望の光が見えるように支援すること」。など、すべてが今を生きる人々の生活に直結するものです。

“We Serve”のもと、今やライオンズクラブの様々な奉仕活動が世界中で行われています。また上記アクティビティは、すでに335-D地区でも積極的に実施されておりますが、高齢化や少子化はアクティビティにも大きな影響があり、それらを踏まえた対応が急務となっております。

本日の研修会により、各ライオンズクラブメンバーが活動の重要性をより強く認識され、また地元でのアクティビティに有意義な展開につながることを願ってやみません。

公益財団法人 兵庫アイバンク
渡邊 和誉

公益財団法人兵庫アイバンクは、1994年5月に財団法人兵庫アイバンクとして開設以来、眼球提供登録者 18,441名、眼球提供者数 371名、摘出眼球数 714眼、使用眼数 668眼（2014年6月末日現在）の実績である。

2012年4月より公益財団法人兵庫アイバンクとして生まれ変わり、現在理事 14名、監事 3名、評議員 10名、コーディネーター 2名、事務職員 1名によって運営している。

2000年4月に西日本で始めて専従職員としてアイバンクコーディネーターを置き、小規模ながら日本のアイバンクを牽引するための体制整備を含め、積極的且つ幅広い活動とサービスの追求を目標に掲げ、鋭意努力しながら活動している。

角膜移植によって視力回復を望まれる方々は、年々増加傾向にあると言われており、日本国内の提供数は平衡状態もしくは低下傾向にあるのが現状である。この状況に伴い一部の移植医は海外から角膜を輸入し、移植医療を施行している施設もある。しかしながら、世界保健機構（WHO）や国際移植学会では、自国内での需要と供給を保つようにと指針にも掲げられており、日本においては移植医療技術は世界トップクラスであっても豊富な供給が得られていない実情がある。

眼球提供（献眼）は、提供される方ができる最後の「いのちのプレゼント」であります。しかしながら、このプレゼントを実行するにはご家族をはじめとする周りの皆様方のご理解とご協力がなければ実行することができません。今般、もう一度眼球提供登録や眼球提供について考えて頂ければ幸いです。

また、当アイバンクでは発展していく角膜移植医療に対応できるように、先端医療である角膜内皮移植術のための体制整備についても準備を進めています。日本の移植医療を広め、患者に有効な医療を提供するためにも極めて有効な活動であり、日本の拠点として役割を担う為の覚悟と発展に寄与する所存であります。

皆様方のご理解とご協力によって、視力回復を望まれる方々への大きな希望へ結びつけることのできる活動にご協力をお願い致します。

献血・視聴覚委員会の運営方針

(2014～2015年度)

2014年8月23日

地区献血・視聴覚

委員長 藤本 昌宏

* 献血について

献血は人の善意によって支えられ、医療の現場で人々の命を救うことに大きく貢献しています。

我々ライオンズクラブでは「献血は命に直結する重要なアクティビティ」として位置づけ、一人でも多くの方々にご協力頂けるよう創意工夫をして活動を行いたいと考えております。

そこで今期の三つの課題を目標に取り組んで頂くようお願いします。

その活動の中で、富山東ライオンズクラブ様が製作した献血推進イメージソングの『君の笑顔を守りたい』を、335-D地区でも献血をもっと明るく身近なものとなるように活用していきたいと考えております。

富山東ライオンズクラブ様了解のもと各クラブへお配りしますので、特に若年層への推進に活用して頂くようお願いします。

1. 若年層献血の推進

- 高等学校・大学・専門学校の献血推進（紹介）と支援。
- 10代、20代が多い職場や団体の紹介。
- 地元小・中学校への啓発活動の推進（紹介）。

2. 献血協力人数（回数）の前年度以上の確保 （400mL献血、成分献血の推進）

- 献血バスでは400mL献血での献血（採血）をより一層推進していく。
- 在姫クラブでは、アクティビティの内1回（1期間）を『姫路みゆき献血ルーム』でお願いします。
- 地元の市町計画献血や団体献血会場への動員や記念品贈呈などの支援・協力をお願いします。

3. 例会での献血説明会の実施

- 今年度少なくとも1回は血液センター職員を例会に招き、献血説明（研修）会を計画してください。
- 改めて献血や輸血の現状、また今後の状況などをメンバーひとりひとりが認識し、全員で献血アクティビティに取り組んでいくようお願いします。

*聴覚障害者福祉について

この事業は聴覚障害者に対する支援事業です。

特定非営利活動法人「デフピープル」の難聴者支援事業として335複合地区内のクラブによる聴覚障害者の社会参加を支援するアクティビティに助成金が交付されます。

支援事業助成金は4地区全体で1,600万円、各準地区400万円まで、1クラブへの上限は100万円（但し総事業費の70%）が支給されます。

この募集は今期で終了しますのでよろしくご検討ください。

今回の地区への申請期限は8月23日（土）事務局へ必着です。＜期限厳守＞

尚この助成金の申請に当たってこれまで物品の寄贈事業が多く、難聴者に対する支援事業が少ない。今後物品の寄贈のみの事業には助成金の支給は認められないと強い指導がありましたので、この点ご注意ください難聴者に対する直接的な支援事業を計画いただきますようお願いいたします。

*視力ファースト・献眼について

○ 一般市民に対する角膜移植の啓発活動の推進

兵庫県下には角膜移植により視力回復可能な方々が推定約400名おられます。しかし残念なことに年間約40眼程度の提供しかありません。

この大きな原因は角膜移植（眼球提供）に対する理解不足がアイバンク活動に障害を与えている面もあり、角膜移植の啓発活動を行うことで少しでも失明者救済に貢献していただくことは、ライオンズの理念である尊い奉仕活動であるといえます。

○ 献眼登録者の募集拡大

現在アイバンクへのライオンズ会員の登録者は2112名（335-D地区、7月末現在）です。

しかしこの実態を調べてみますと退会された方や転居された方、物故者も多数あり、又クラブの現会員にも未登録の方がいると思われれます。角膜移植への関心を高める意味でも会員の全員登録を是非ともお願いいたします。

○ 兵庫アイバンクとの連携と支援協力の拡充

兵庫アイバンクでは西日本において初めてコーディネーター（2名）を置き活動していますが、眼球提供者への対応は365日24時間、1日も休みなく続けられています。

しかもその活動は多岐にわたり、過酷な条件の下で懸命な努力が続けられています。アイバンクの活動が崩壊してしまうと角膜移植の継続が困難になってしまいます。

また、アイバンク活動には多額の運営資金が必要です。この事業は皆様の善意の寄付等を主たる財源にしていますのでクラブや会員各位にも是非ご理解とご協力をお願いいたします。

1. ライオンズクラブ献血奉仕活動について

1) ライオンズクラブと献血奉仕活動

現在、日本国内の年間献血者数は約 521 万人、国民の約 24 人に 1 人がご参加いただいていることとなります。私たちライオンズクラブは地域住民、ひいては国民のかけがえのない生命と健康を守るために「愛の献血運動」を推進しています。

国内のライオンズクラブの献血協力は、昭和 41 年（1966 年）5 月、東京のライオンズクラブが 140 人の動員を行ったのが最初です。当時は、東京～大阪間の新幹線も開通し、東京オリンピックも大成功を収めました。しかし一方では、ライシャワー駐日大使の殺傷事件で輸血を受けられた際、肝炎に感染し「黄色い血」が社会問題となっていました。この頃は、まだまだ売（買）血が主流の時代で、輸血用血液の 92%を占めていました。赤十字の“献血”はわずか 8%で推進には困難な時代でした。

全国の各ライオンズクラブは、売（買）血からの輸血で多くの患者さんが肝炎などの感染症を起こしていることを憂慮し、「患者さんやその家族が、少しでも安心して輸血を受けられるような社会を築くため」献血奉仕活動に立ち上がりました。

2) 335-D 地区の献血活動

全国的な流れを受け、335-D 地区では昭和 51 年（1976 年）6 月、献血アクティビティが始められました。以降、昭和 56 年からは、地区に献血推進委員長も置かれ、平成 25 年度（2013～2014 年度）は、倫理性や無償性を基本に年間約 1 万 4 千人の献血者があり、播磨、但馬地域の輸血医療には欠かせない献血推進、協力団体（献血サポーター）となっています。

3) 地区の献血活動の展開と課題

日本の人口構造は、高齢化、少子化が他国に類をみないスピードで進行しています。兵庫県内でも 335-D 地区の市町では、その傾向が著しく、高齢社会となっており、それに過疎化が加わっている地域があります。現在、輸血用血液は比較的高齢者に多く使われており、この地区でも早急に若年層を中心とした「献血確保の基盤」を強固にしておかなければ、ごく近い将来、大幅な血液不足が予測されます。

2. 献血実施計画の手順

ライオンズクラブと血液センターの打合せ時の基本的な留意、調整事項を示しています。あらかじめご確認をお願いします。

1) 計画手順の概略

● 主催アクティビティ

- ① 実施予定日の3ヵ月前には、血液センターへ日程調整のために連絡する。

(※連絡は早いほどよい。できれば年間計画で計画してください。)

(連絡先)

兵庫県赤十字血液センター姫路事業所事業課 Tel 079-294-5147

兵庫県赤十字血液センター豊岡出張所 Tel 079-624-0268

兵庫県赤十字血液センターみゆき献血ルーム Tel 079-288-5718

兵庫県赤十字血液センター推進課 Tel 078-222-5013

- ② 血液センター担当者と日時、場所などの概略を調整する。(3ヵ月前)
- ③ 備品、資材、記念品等の準備、関係先(ショッピングセンターなどの会場)への連絡や許可を得ておく。
- ④ 必要に応じて連絡をし、実施1ヵ月前には最終打合せを行う。
- ⑤ 実施日前の適当な例会において、クラブ内での現状把握や注意事項、PRなど参加メンバーで情報共有する。
- ※是非、「ライオンズクラブ例会」に血液センター担当者を招いて説明会を開催してください。
- ⑥ ポスター掲示などのPRも、実施1ヵ月前から開始する。

● 共催(協賛)アクティビティ

- ① 市役所、町役場、血液センターに年間計画を確認する。
- ② 共催協力する旨を血液センターへ連絡する。
- (※連絡は早いほどよい。できれば年間計画で計画する。)
- ③ 血液センター、市町担当者や各団体と確認打合せをし、クラブとしてのPRや当日の受付方法、記念品、献血者動員計画をたてる。

※高等学校などを紹介し献血実施される際には、学園祭など一般の人が入場可能な場合には、クラブの動員やポスター掲示などPRをお願いします。また記念品などの支援をご検討をお願いします。

2) 計画実施のポイント

以下について血液センターと打合せ・協議が必要です。

① 日程調整

ア) 献血バス

- ・ 血液センターでは各クラブからの日程案により（連絡の先着順を基本に）献血バス配車計画を確定します。2～3 ヶ月前でも可能な場合もありますが、1 年前など年間計画では、ほぼ希望の日が予定できます。
- ・ 希望日程をできる限り調整しますが、行政、企業、学校など各種の協力団体と計画を調整するため、無理なケースがあり、希望日の変更をお願いすることがあります。
- ・ 献血バスの配車は平日が基本ですが、土曜や休日で可能な日程もありますので、血液センターと事前に協議をお願いします。
- ・ 献血実施日については、同じ場所で他のクラブと近い日程で実施を希望される場合もあります。その際、後で申し込まれたクラブが、先に申し込まれているクラブの直前の日程を希望されることは避けていただくか、当該クラブと必ず相談してください。また同様の場合で血液センターの定例街頭献血が予定されている場合、ライオンズクラブの都合で変更や中止はできません。
- ・ 定例街頭献血や市町が主催の計画献血は、年間で決まっている場合が多いため、血液センターや各市役所、町役場の献血担当課に確認願います。

☆ 献血バスの1日献血目標人数（参考） 半日は1/2

区分	受付者数	献 血 者 数
平日	70 人	50 人 (400mL 献血)
土日祝	80 人	60 人 (400mL 献血)

※「高等学校献血」以外は 400mL 献血での推進をお願いします。

イ) 献血ルーム

- ・ 姫路みゆき献血ルームでは成分献血と 400mL 献血の確保を主としています。
※高校生など、16 歳と 17 歳の女性には 200mL 献血をお願いしています。
- ・ 日程については献血バスとほぼ同様の設定要領となりますが、できるだけ早く連絡をお願いします。
- ・ 1 日のみの活動も可能ですが、1 週間～10 日程度の（キャンペーン）期間を設けての実施をお願いします。期間中には動員やメンバーでの「呼びかけ活動」、記念品の提供などをお願いします。
- ・ 姫路市近郊のクラブは、献血ルームでの取り組みもお願いします。『ギャラリースペース』などを活用し、自クラブの紹介や活動展などもできます。詳しいことは

姫路みゆき献血ルームにお問い合わせください。

・『献血(紹介)カード』の活用などにより、協力者を紹介、動員する方式も有効です。

参考-①をご覧ください

☆ 献血ルームの1日献血目標人数(参考)

区分	受付者数	献 血 者 数
平日	70人	50人(内成分献血者数40人以上)
土日祝	90人	70人(内成分献血者数55人以上)

※200mL献血については当日の県内採血状況により若年層を中心に受付しています。

② 献血日が確定した場合の打合せ

夏季や冬季など自然環境が厳しい場合には、テントの設営などでの実施が困難な場合があります。荒天時にも備え、公民館などでの開催で、献血者にも安心して献血いただいている会場手配をお願いします。原則「雨天中止」の採血計画はできませんのであらかじめご承知おきください。

主な内容は、次のとおりです。準備や当日の役割分担などをお願いします。

役割分担	・受付係 ・案内、接遇係 ・PR係 ・準備係など
準備物	・献血バス、検診バスの駐車場、テントスペース ・受付、問診、検診、休憩場所(献血者のプライバシーが守れる、できるだけ天候や気温など影響の無い室内をお願いします) ・駐車場やスペースにかかる関係機関の許可(店舗や公園など) ・長机、椅子(背もたれ付)、テント ・案内表示、たて看板、のぼり旗など ・ハンドマイク ・記念品 ・電源(家庭用100V) ・扇風機・ストーブなど

③ 実施日当日の活動

ア) 会場の設営、準備、後片付け

打合せに沿って会場設営をします。献血バスは、実施時刻の概ね30分前に献血会場に到着します。テントなど設営に時間のかかる場合もありますので、合わせてライオンズクラブのスタッフも会場に集合してください。また、記念品などの袋詰が必要な場合は、その際準備をお願いします。受付場所や問診、検査、休憩場所の環境については、特段の配慮をお願いします。(冷暖房、プライバシー保護)後片付けも同様に、血液センター職員や行政担当者とは協力してお願いします。

イ) 受付前誘導

献血者を誘導し、献血に関する『お願い・注意文』を読んでいただくようお願いいたします。受付確認書に記入を勧めさせていただく場合もあります。

ここでは献血者ご自身のプライバシーに関わるが多く、メンバー同士の私語などは避けていただきますようお願いいたします。

ウ) 接遇、案内、誘導

受付後、献血バスへの誘導や献血後休憩場所への案内をお願いします。また、記念品（金券や換金性のあるものは禁止させていただきます）を献血者に渡してください。その際、注意いただくことは・・・

- 献血後、稀に気分の悪くなる人がありますので、まず椅子に座るよう勧めてください。

休憩場所への案内や記念品を渡される担当者は、献血者の顔色、様子などに注意してください。万一、気分不良者を発見した場合は安静にさせていただき、血液センター職員にお知らせください。

- 献血者には献血後 10 分～15 分以上の休憩をお願いしています。

記念品は、献血終了後の休憩時に感謝の言葉を添えて渡してください。受付者全員に渡す場合、事前検診で献血できない方には、検診場所付近で、又は受付でお帰りの時に渡してください。

- 献血会場の受付・休憩場所付近での喫煙や飲食は禁止してください。

エ) 当日の呼びかけ、広報

通行中の人や関係者（市役所の職員）などに献血の呼びかけをお願いします。特定の血液型が不足していたり、当日の 200m L 献血はすでに確保できていたりという場合がありますので、血液センター職員と相談してください。看板の設置や BGM 等について制限がある場合があります。血液センター職員を通じ、確認をしてください。

個人情報の保護について

平成 17 年 4 月に「個人情報保護法」が施行されました。個人の人格を尊重して、情報を収集する場合には、利用目的を特定・明示することとされ、目的外利用や外部提供が制限されています。

また献血会場では献血者の個人情報やプライバシーを慎重に取り扱う必要があります、献血受付をはじめ注意が必要であることをご承知ください。

3. 献血状況や献血種別などについて

1) 必要数〈年間約 69 万単位の供給に約 21 万人の献血〉

平成 25 年度、兵庫県内医療機関への血液供給単位数は約 500 の医療機関に約 69 万単位（対前年度比 97.1%）もの血液供給が行われました。このために約 21 万人以上の献血へのご協力者が必要です。

これを達成し、県内医療機関に円滑に供給するためには、献血バス（ルーム）の 1 台（日）あたりの献血計画数の確保が重要となります。

また、献血者のご協力には、季節間格差があり例年不足する時期、特に年末年始から春先には一層の支援をお願いします。

2) より安全な輸血のために必要です。〈400mL 献血〉

輸血を受けられる患者さんの肝炎ウイルスなどの感染や各種の副作用を軽減するため、出来るだけ少人数の献血者から得た血液で輸血に対応していく必要があります。つまり 200mL 献血よりも 400mL 献血からいただいた血液のほうが、患者さんにとって安全性が高いと言えます。献血協力の依頼や呼びかけは（男性 17 才、女性 18 才以上、50kg 以上の）400mL 献血が可能な方をお願いします。

- 335-D 地区では、すでに全血献血者数の内 96.7%が 400mL 献血です。
- 医療機関からの要請に的確に応えるには、献血バス 1 台当たりでは 50 人以上の 400mL 献血が必要です
- 200mL 献血は 16 歳や 17 歳の女性にお願いしています。

3) より安全で効果的な輸血のために必要です。〈献血ルームの血小板成分献血〉

「より少ない人数による輸血」が効果的で、より安全な輸血につながることから、医療機関からの血液要請のなかで、特に癌、血液疾患（白血病、骨髄移植後など）などに欠かせない「血小板」血液製剤については、「血小板成分献血」による確保が必要となっており、現在医療機関からの要請も増えています。

この「血小板成分献血」は献血ルームでしか確保できません。「血小板成分献血」は、所要時間が 1 時間程度かかりますが、ぜひともご協力願います。

「血小板成分献血」より製造された血液製剤は、有効期間が採血後 4 日間と短く、毎日、新鮮な血小板が大量に必要です。

クラブメンバーやご家族の献血メール会員登録にご協力をお願いします
血液センターでは、緊急的な血液不足時などに“より早く献血を確保する”ため、携帯電話やパソコンの「メール」機能を使い献血をお願いする『複数回献血クラブ』の会員を募集しています。ご協力をお願いします。

参考 - ①

● 「献血紹介カード」による献血推進

「献血紹介カード」は、献血実施日に献血できない方やできなかった方が、指定した期間と別の日に、クラブが指定した場所に献血に出向き、その分も漏れなく実績としてカウントする方法として採用されました。

献血バスで献血できなかった方が、別の日に献血ルームで献血していただく際にこの「献血（紹介）カード」をご活用ください。

ライオンズクラブ献血（紹介）カード ー見本ー

ライオンズクラブ献血（紹介）カード		
献血者氏名		
下記団体の紹介で献血に参加しました。		
紹介団体	〇〇ライオンズクラブ	紹介者〇〇
〔備考〕		
〔血液センター記入欄〕		
400 / 200 / 成分 / 不採血		
◎このカードは紹介団体に返却される場合がありますのでご了承ください。		

見本をご参考にカード作成をお願いします。（レイアウトや大きさは自由です）

なお、『個人情報』が特定できるような内容の記載は避けてください。

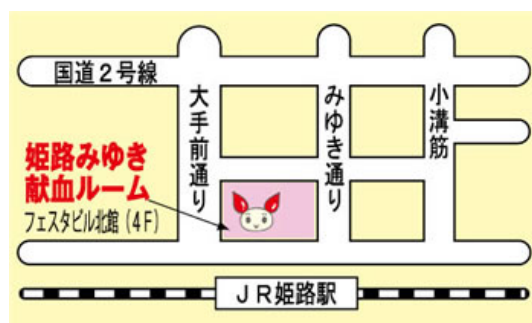
また、血液センターからライオンズクラブに事後、提出必要な場合には、必ず「このカードは紹介団体に返却されます」を記載してください。

必要により、血液センターに様式等をFAX等でご相談ください。

姫路みゆき献血ルームのご案内

平成24年3月に姫路駅前フェスタビル北館4階に移転拡張いたしました。

新しい献血ルームは、快適な待合・休憩スペースを備え、採血ベッドは10床に増設し、キッズスペースや多目的スペース・ボランティアルーム等の施設も充実いたしています。

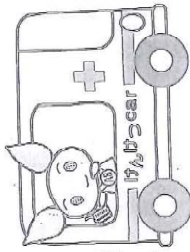


「献血運動」はライオンズクラブの 大きな社会奉仕活動の一つです。 (昨年は多くの方にご協力いただきありがとうございました。)

みんなで支える愛の献血

健康な血液を支える貴い生命
患者さんの生命を守るのは、献血から生まれる愛の贈り物

21世紀、科学がどんなに進歩しても、血液は人工的に造ることができません。
また、血液は生きた細胞で、長い期間保存することもできません。
輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、
献血が必要とされています。
献血へのご理解とご協力をお願いします。



愛の献血にご協力をお願いします

1月26日

じかん：10時～14時
**ところ：梅と潮の香マラン大会場
(羽子池駐車場南側)**

献血していただいた方へ
400円相当の卵パックと「うどん・焼き芋・サツマゴテ」の肉より1品。
そして、今年度も上記の3品を頒売いたします。(配布可能です。)

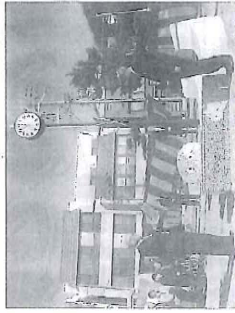
献血は愛の贈り物です。献血は生命の源であり、健康の源です。献血は、命を救うための大切な活動です。献血は、社会貢献の一環として、社会をより良くするために、ぜひご協力をお願いします。

献血は、命を救うための大切な活動です。献血は、社会貢献の一環として、社会をより良くするために、ぜひご協力をお願いします。

主催：はりま御津ライオンズクラブ

ライオンズは こんな活動をしている団体です。

ライオンズクラブの紹介
1917年に創設されたライオンズクラブは、世界最大の専任クラブ組織です。
現在では206を越える国と地域で地域奉仕に取り組んでおり、世界中に46,000を越えるクラブがあります。
ライオンズに集まった献金は100%専任事業に使用され、クラブ運営には使用されません。2007年イギリスの経済誌「フアインケナル・タイムズ」がまとめた評価において、ライオンズクラブは世界最高の非政府組織(NGO)に格付けされました。



はりま御津ライオンズクラブ(旧)旧市立公民館
新築工事に着手中

- ライオンズの専任活動**
- 1995年ヘルンケラーがライオンズに対し、「諸君と協力する人の騎士」となるよう呼びかけたのを契機に、失明者など視覚障害者への援助に力を注いでいます。
 - 自然災害が起きたときには、緊急支援と長期的な災害救助を提唱しています。
 - 2011年8月の日本の震災に対しては、世界中のライオンズから2,100万ドル(21億円)を超える資金を調達し、災害救助活動を行っています。
 - 日本赤十字社に協力し、深刻な血液不足に対応する為に献血運動を行っています。
 - 青少年育成のための活動として、世界に青少年の交流等を実施しています。
 - 環境保全や地球社会の文化的、社会的活動等の支援を行っています。
 - 日本を問わず地域に困窮するニーズに応える活動を行っています。



はりま御津ライオンズクラブ(旧)旧市立公民館
新築工事に着手中

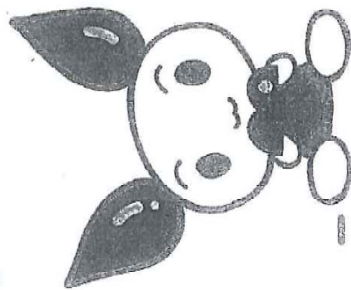
はりま御津ライオンズクラブ役員紹介



はりま御津ライオンズクラブ
兵庫県たつの市御津町釜屋489-3
TEL.079-322-1856

＋ 人間を救うのは、人間だ。 Respect for humanity

献血に 協力ください。



日時：8月17日(日)

会場：コープデイズ豊岡 1F エントランス

受付：午前10:00～11:30
午後12:30～16:00

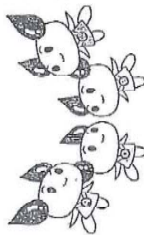
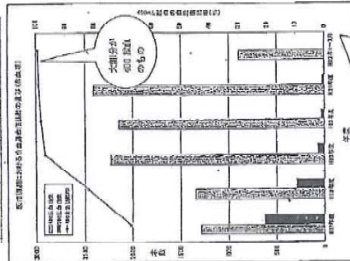
400mLの献血、ご協力をお願いします
(対象年齢：男性17歳、女性18歳以上、体重50kg以上の方)
※400mL献血は患者さんの副作用発生の可能性が低く、安全性が向上します。

あなたの力で
生命をつなぐ

共催：豊岡こころとリライオンズクラブ

献血の前にご確認ください

全血献血の基準	
献血年齢	400mL献血：200mL献血
性別	18歳～39歳：18歳～69歳
体重	50kg以上(400mL献血) 45kg以上(200mL献血)
年間献血回数	1回(1年以内) 2回(2年以内) 3回(3年以内)
献血間隔期間	500mL献血：200mL献血 1回(1年以内) 2回(2年以内)



献血前には、献血者本人の同意を得た上で、この献血の目的、献血の意義、献血の安全性等について説明を行います。献血者本人が400mL以上の献血を希望する場合は、事前にお申し込みください。

400mL献血には、献血者本人の同意を得た上で、この献血の目的、献血の意義、献血の安全性等について説明を行います。



このため、医療機関では400mL献血の献血用血液を使用されています。医療の現場で使用される血液は95%以上、400mL献血によるものです。

400mL献血の献血は、主に1回に使用されますが、医療機関では1日に2回、1回に500mL献血に使用される場合があります。献血者本人の同意を得た上で、献血者本人が400mL以上の献血を希望する場合は、事前にお申し込みください。

献血

参考⑤

献血者居住地別ベース:335D地区抜粋)

平成24年度				平成25年度				対前年度比		
献血者数		献血者数		献血者数		献血率				
400mL	成分	合計	200mL	400mL	成分	合計	全人口	16~69人口	200mL	400mL
14,942	6,440	22,454	990	14,823	6,516	22,329	4.2%	6.2%	92.4%	99.2%
8,329	1,817	10,650	438	8,052	1,724	10,214	3.8%	5.5%	86.9%	96.7%
1,027	227	1,300	46	1,003	211	1,260	3.7%	5.3%	100.0%	97.7%
2,890	864	3,894	126	2,894	815	3,835	4.1%	6.0%	90.0%	100.1%
1,111	152	1,371	78	1,216	174	1,468	3.4%	5.4%	72.2%	109.5%
706	74	843	40	671	56	767	3.4%	5.4%	63.5%	95.0%
2,107	631	2,870	129	1,810	619	2,558	3.2%	4.8%	97.7%	85.9%
1,469	344	1,937	94	1,338	316	1,748	3.8%	5.8%	75.8%	91.1%
1,609	278	2,008	98	1,471	252	1,821	3.7%	5.5%	81.0%	91.4%
1,265	191	1,539	68	1,223	210	1,501	3.8%	5.7%	81.9%	96.7%
401	37	475	28	386	53	467	3.8%	6.0%	75.7%	96.3%
328	30	399	35	290	67	392	3.0%	4.6%	85.4%	88.4%
588	199	845	44	574	213	831	4.3%	6.5%	75.9%	97.6%
2,483	685	3,316	147	2,390	729	3,266	4.1%	6.1%	99.3%	96.3%
951	345	1,348	36	939	323	1,298	3.8%	5.6%	69.2%	98.7%
777	287	1,123	48	821	282	1,151	3.8%	5.8%	81.4%	105.7%
1,384	318	1,795	75	1,382	295	1,752	3.5%	5.3%	80.6%	99.9%
422	195	656	26	464	145	635	3.9%	5.9%	66.7%	110.0%
579	109	750	57	616	124	797	4.2%	6.8%	91.9%	106.4%
1,140	197	1,393	59	1,141	191	1,391	3.4%	5.3%	105.4%	100.1%
4,098	71	4,227	53	3,943	76	4,072	4.7%	7.4%	91.4%	96.2%
544	21	588	16	507	28	551	2.8%	4.6%	69.6%	93.2%
402	6	416	8	360	6	374	2.3%	3.8%	100.0%	89.6%
1,001	49	1,055	8	921	61	990	3.8%	6.3%	160.0%	92.0%
1,391	78	1,499	12	1,366	63	1,441	4.4%	7.1%	40.0%	98.2%

第10期「聴覚障害者社会参加支援事業」形態分析

事業数：30件（中止1件）

1. 聴覚障害者が直接参加 2. 講習会・研修会の開催 3. 機器の贈呈

1. 直接参加・15件

A地区:5件:	狂言鑑賞	神戸生田 LC
	水泳大会	神戸ウエスト LC
	講演会	神戸のじぎく LC
	チャリティフェスティバル	芦屋ハーモニー LC
	船細工体験	明石しおさい LC
B地区:2件:	バリアフリー上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」	大阪東住吉平野 LC
	バリアフリー上映会「舟を編む」	堺 LC
C地区:7件:	ライブ&トークショー >H26/5/7 中止	京都室町 LC
	手話劇コンクール	京都賀茂 LC
	ボウリング大会	京都嵯峨野 LC
	バリアフリー上映会「幸せへのキセキ」・講演	京都ロイヤル LC
	伊勢・鳥羽バス旅行	宇治 LC
	チャリティオークション&バザー	草津 LC
	舞台観賞(ライブ・演舞)・介助犬訓練実演	彦根金亀 LC
D地区:1件	伊勢神宮バス旅行	中 LC

2. 講習会・研修会等 教室開催・4件

A地区:2件:	中途失聴者対象の手話教室	神戸中央 LC
	経理講習会	神戸テレア LC
B地区:1件:	プリザードフラワーアレンジメント	大阪梅田中央 LC
C地区:0件:		
D地区:1件:	手話技術研修講座	姫路白嶺 LC

3. 寄贈・11件

A地区:1件:	作業場建設・陶芸窯・パン窯・ピザ窯他備品	洲本 LC
B地区:3件:	クッキー成型機	大阪港 LC
	パソコン・書画カメラ・スクリーン	大阪浪速 LC
	パソコン・プロジェクター・スクリーン他備品	泉大津 LC
C地区:3件:	軽ワゴン車	京都葵 LC (2Z 合同事業)
	パソコン・プロジェクター・スクリーン他備品	宮津 LC
	聴覚障害者用スピーカー・図書(介助犬・障害)	奈良セントラル LC
D地区:4件:	磁気ループ補聴設備	姫路鷺城 LC
	和太鼓	姫路白鷺 LC
	磁気ループ補聴設備	加美 LC
	電子黒板	赤穂 LC

ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 各クラブアイバンク登録現状

												2014.8.1			
R	Z	クラブ名	2013年度 会員数	累計登録者	今期 登録者	H24~ 献眼者	R	Z	クラブ名	2013年度 会員数	累計登録者	今期 登録者	H24~ 献眼者		
1	1	姫路	37	34			3	2	西脇	55	101				
		姫路ゆめさき	20	1					中	30	56				
		姫路大手前	56	11					黒田庄	17	23				
		家島	7	0					加美	25	206				
		姫路白嶺	30	30					小計	127	386	0	0		
		姫路さくら	29	48					合計	391	852	0	0		
		姫路ゴールド	22	0			4	1	豊岡	45	37				
		小計	201	124	0	0			出石	47	24				
	2	姫路鷺城	20	12					豊岡亀城	36	14				
		姫路中央	64	36					豊岡こうのとり	28	30				
		はりま市川	20	7					小計	156	105				
		姫路西	25	3				2	八鹿	25	24				
		姫路南	19	18					和田山	44	47				
		姫路スター	45	5					温泉町	21	8				
		小計	193	81	0	0			村岡	22	14				
	3	姫路白鷺	46	28					山東	25	20				
		福崎	19	32					大屋	17	274		2		
		姫路広陵	32	67					朝来	12	21				
		姫路グリーン	31	53					小計	166	408	0	2		
		福崎サルビア	20	17					合計	322	513	0	2		
		姫路白鳥	14	0			5	1	龍野	75	28				
		小計	162	197	0	0			山崎	53	37		1		
		合計	556	402	0	0			太子	28	3				
2	1	高砂	37	6					はりま一宮	28	2				
		播磨	16	26					ハリマ新宮	24	9				
		高砂の松	11	9					はりま御津	25	16				
		小計	64	41	0	0			揖保川	16	32				
	2	加古川	13	14					たつの赤とんぼ	14	15				
		加古川シーサイド	21	4					西はりま	24	0				
		加古川東	15	13					小計	287	142	0	1		
		加古川中央	52	19				2	相生	4	9				
		加古川清流	26	5					赤穂	47	24				
		小計	127	55	0	0			上郡	17	18				
		合計	191	96	0	0			佐用	15	37				
3	1	小野	24	53					千種	4	3				
		三木	38	26					光都ハーモニー	31	16				
		加東	43	41					小計	118	107	0	0		
		加西	25	57					合計	405	249	0	1		
		加西北条	36	42					総合計	1,865	2,112	0	3		
		三木東	32	39											
		三木中央	36	159											
		小野ひまわり	30	49											
		小計	264	466	0	0									

2014年7月28日

LIONS CLUBS



INTERNATIONAL

335D地区ガバナー L小暮敏郎
キャビネット幹事 L東本将文
会則委員長 L西村俊亮

献血・視聴覚委員長 L藤本昌宏

335D地区内規に新アワード申請

盛夏の候、貴殿益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は各委員会に御指導賜り御礼申し上げます。

さて、D地区2014/04/30の現在クラブアイバンク登録現状は地区の会員数に近い登録者数(1,782)で有ります。これはキャビネット運営を支えて頂いた歴代ガバナー始め委員長そして関係各位のご尽力であることは誰もが認める所であります。

アイバンクの事業目的は献眼者にあります。先輩Lが積み上げて頂いた実績を本年度は、地域住民に検眼・視力保護の必要性は勿論ですが、会員の献眼運動であります。昨年度の献眼者実績数は3名です。指数では0.0016分の有志をのぞき指数は0であります。

この現状は、私自身の現状内にもあります、ご存じのように献眼は献血と決定的な違いがあります。献血が生体で出来るのに献眼は死後に提供されるものであるという違いです。

死後、ご遺族が雑事に取り紛れている事も事実であります、またその事を承知していても、ご遺族にしてみれば、死者の体に傷をつけることをあえて忌避しているかもしれませぬ。運動として献眼事業は、登録運動の推進と同時に死後の処置に関するご遺族へのご理解だと思えます。

そこで、ご遺族の理解はライオンズスピリットにあります、主人がライオンズが好きでグッド・スタンディングであり移植を待ち望んでいる多くの人に再生し長い苦しみから抜け出すことができるこれほど副音は無いと思えます、これこそライオンと呼ぶる人です。ライオンの最後の奉仕事業・献眼に対しキャビネットとして、最高のアイ・サーブアワードを送る提案であります。

(案) アイ・サーブゴールドメンバー

(アイ) は目そして私
人は死して名を残す。

この事業が御家族のご理解に繋がれば、献眼の要となる事を信じます。
事を起こすことが始まりです。是非、立ち上げに御尽力を御願い致します。



編集； ライオンズクラブ国際協会 335-D地区

発行； 2014～2015 年度

地区献血推進・視聴覚委員会